

## 提案：高校生が地方創生のためにできること

## 提案内容

- ・高校生を中心として地域社会や民間企業と連携し、高校生だからできることを強みに、地域に貢献する活動を行いたい。

## 理由、きっかけ、事例

- ・島田高校での生徒会活動は、高校の内部の活動にとどまり、地域社会と関わる活動がなかった。(資料4 別紙1)
- ・銚子商業高校と銚子電鉄の事例を知り、高校生の強みを武器に地域を盛り上げられると思った。(資料4 別紙2)
- ・全国の高校生が集まる松下政経塾(夏休み生徒会リーダー夏合宿)に1泊2日で参加した。そこで、生徒会を中心に他校と協力して、校外で活動を行っている事例を聞いた。自分達も何かしてみたいと思った。(資料4 別紙3)
- ・あわせて、高校卒業後の進学先や学部を考えたとき、将来働く仕事を考えて検討したいと思ったが、市内の働き先をあまり知らない。市内の企業と関わることで地元の企業を知ることができ、自分の興味や可能性を広げ、進学先を選ぶことができる。また、将来地元の企業へ就職することを考えるきっかけになる。

## そのために

- ・地域への貢献活動は高校生だけで取組むことは難しく、地域社会や民間企業と連携することが必要。
- ・さらに高校1校での取組ではなく、他校の高校と横の繋がりをづくり、取り組んでいきたい。

⇒どうすれば良いか皆さんから意見をもらいたい。

## 島田高校におけるこれまでの生徒会活動

- ・校内での行事の準備、運営

※ 校内文化祭” 六月祭” の準備、運営 が主な活動

百人一首大会や中学生一日体験入学、小学生勉強合宿

- ・校内の庶務

一年間を通しては上記した内容が主だった活動

○生徒会役員の反応としては、

- ・仕事がある期間中は忙しくてよいが、何もない期間がある
- ・仕事があったとしても実は余裕がある
- ・もっと何かしたい

島田高校の生徒会は他校の生徒会に比べて活動が少なく、やっている活動は内部にとどまっている。

ということで、現在、新たな活動内容を検討中

# 千葉県立銚子商業高校

銚子電鉄のために自分たちができることはないだろうか？ということで挙げられたのが

## 〈クラウドファンディング〉

目標金額は 300 万円

実際に集まったのは 4,843,000 円

活動の流れ…

- 1) 同じグループのメンバーにプレゼンテーション
- 2) 募金活動をすることを決定
- 3) クラウドファンディングに決定
- 4) プロジェクトページづくり (インターネット掲載の)
- 5) 銚子電鉄とのミーティング (リターンの内容についてなど)

のちは期限日までメンバーで毎日ページ内情報を最新のものに更新していく。個人的に facebook を利用して多くの人に発信する。

この事案は 2014 年のことである。

**これらは高校生が自分たちで考えて自分たちで行動した結果！**

## 夏休み生徒会リーダー夏合宿に参加して…

### 1) 静岡県の生徒会は遅れている

競争率の高い関東の生徒会は、生徒が主体となり活動している。

例；生徒会の連盟、団体をつくり、意見交換をする。そしてお互いに活動に還元していく。各団体の理事には高校生が就任している。

東京大学は小玉教授によると、

**「選挙率にもあげられるように、若い世代が積極的に参政していかなければいけない」**

とのこと。

実際には高校で参政に関する授業は多くは設けられないので、生徒会や校外活動でそれらを伸ばさなければ世の中は変わらないと考えられる。

→それらの力を伸ばすための機会を増やしたい。と考えている。

変わり行く生徒会活動の例…

- ・ 生徒会が主体となって ICT 環境を整える活動
- ・ 国際活動目標の SDG s に貢献
- ・ アルミ缶回収により老人ホームへの車いすの寄贈
- ・ アフリカへの指定ジャージや運動靴への寄贈
- ・ ペットボトルキャップによるワクチン贈呈
- ・ 駅での歩きスマホ防止キャンペーン

など